

相馬ゆうこの



HP

南千住 レポート

まちづくり・
くらしの情報を
とどけます

相馬ゆうこ事務所

荒川区南千住5-1-6・2階

☎・FAX 3807-4192

区議団控え室(荒川区役所内)

☎ 3802-4627

FAX 3806-9246

✉ arajcp@tcn-catv.ne.jp

araken-nan.jugem.jp

狭い歩道と「補助189号線」の整備

「狭くて通行しにくい」と改善が求められている、南千住7丁目～8丁目を結ぶ区道（国道4号～くすりの福太郎前～JR常磐線高架～汐入）の

歩道が少しずつ変わっています。これまでソメイヨシノとともにツツジをセットで植え込んできましたが、ツツジの植栽を撤去し舗装してガードレールを設置。撤去したツツジは、区内の別の場所に植え替えているそうです。



現在



↑ツツジがなくなってガードレールが並び、やや広くなった

以前は植え込みが続いていました →

以前



街路樹も福太郎前～JR常磐線高架までソメイヨシノが並び、満開の桜並木が見事だったのですが、老朽化で倒木の危険もあり、ここ数年で伐採がすすんでいます。十数年後には街路樹も植栽もない道路になってしまうのでしょうか。通行の安全確保の歩道幅員（※）の基準とともに、緑と自然も確保する知恵だしが求められています。

※以前は歩道幅2mのなかで植栽や街路樹の整備が可能でしたが、バリアフリー化促進のため現在は「有効幅員2m以上」を確保することが義務付けられました

拡幅は未着手…
どうする緑と安全対策

「国道4号～リバーパーク汐入北交差点」までの740mは、都市計画道路「補助189号線」として幅員20m・歩道5mと無電柱化の計画がありますが、沿道のURやマンションとメトロ検車区などのセットバックも必要など課題も多く、着手に至っていません。



今後の拡幅整備への地域のみなさんの意見をいただきながら、緑の確保と安全な通行空間の整備に力をつくしたい。



定期接種化で 帯状疱疹ワクチン助成が縮小!?

区の帯状疱疹たいじょうぼうしんワクチン助成は、「50歳以上」を対象に2023年度から開始しましたが、4月からの「定期接種」化にもなって助成内容が段階的に縮小に。



定期接種の対象となる「65歳を迎える方」は、これまで通り費用の半分程度が助成されます。

また、2029年度までの5年間は「70・75・80・85・90・95・100歳になる方」も助成の対象です。「101歳以上の方」「50歳以上で上記に当てはまらない方」は、今年度まで対象となります（下図）。

助成の対象	2025年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
50歳以上	→					
65歳 (定期接種)		→	→	→	→	→
70・75・80・85・ 90・95・100歳			→	→	→	
101歳以上	→					

助成利用は 2023年度は2,716人の方が区の対象の3% 助成を利用しましたが、対象人口（50歳以上）の約3%にとどまっています。助成があっても、費用負担を考えると躊躇ちゅうちよされる方が少なくないようです。

費用無料化、足立、葛飾、渋谷、港区支援継続する区も など、定期接種対象者の費用を無料にする区もあります。また、荒川区は定期接種対象外の方への助成を今年度限りで終了する予定ですが、引き続き継続する



区もあるなど、各区で対応が分かれているようです。物価高騰の中で4,000円は決して軽い負担ではありません。希望する方が費用の心配なく接種できるよう、助成額の引き上げや任意接種の助成継続など、区民の健康をまもる区の支援を求めます。

※帯状疱疹とは…

発症すると、赤い斑点と水ぶくれが帯状に生じて痛みを伴い、症状が収まっても痛みが続くことも。多くが水ぼうそうのウイルスが原因で、50歳代から発症率が高くなり、80歳までに約3人に1人が発症するといわれています

対象の方は、6月中旬以降に予診票が届きます。ワクチンは「生ワクチン」「不活性化ワクチン」の2種類があり、自己負担額はそれぞれ4,000円・11,000円（通常費用の半分程度）です。どちらを選ぶかは、かかりつけの医療機関でご相談下さい。

ワクチンの種類

	生ワクチン	不活性化ワクチン
回数	1回	2回
予防効果	50~60%	90~95%
持続期間	5~8年程度	9年以上
特徴	1回で済む 料金が安い	予防効果が高い 免疫低下でも接種可
自己負担	4,000円	11,000円(×2回)

※生活保護世帯等は免除

〈法律・生活相談〉

5月の定例法律相談日は 8日(木)です

ご要望やご相談などは随時ご連絡ください。事務所での定例法律相談は毎月第2木曜18時から。平日の午後法律事務所（北千住）でも可能です。お名前と電話番号等を下記の留守番電話に録音して下さい。

相馬 ゆうこ事務所 南千住5-1-6・2階 ☎ 3807-4192

無痛分娩の費用助成～受け入れ先が少ない!?

東京都は今年10月から、無痛分娩にかかる費用助成を開始します。助成額は最大10万円、申請方法などはこれからお知らせします。



【問合せ】東京都無痛分娩費用助成コールセンター ☎0120-620-620 (平日9～17時)

無痛分娩は、出産の痛みを軽減し産後の体力回復が早いなどのメリットとともに一定のリスクもあり、安全な管理が必要です。都内の無痛分娩取り扱い

○ 無痛分娩費用助成 11億円

- ・ 助成内容：無痛分娩に係る費用を **最大10万円助成**
- ・ 対象：都内対象医療機関で **10月以降に出産した都民**
- ・ 規模：9,500件
- ・ 開始時期：令和7年10月

都の予算資料



いは109か所で、助成対象施設は現在53か所のみ。荒川区内ではリバーサイド病院（8丁目）とあらかわレディースクリニック（町屋）の2か所。

「予約がとれない」「近くにない」

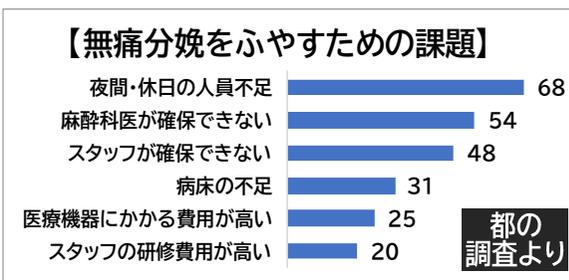
フランスでは無痛分娩が8割

などヨーロッパでは一般化していますが、日本では2018年5.2%→23年11.6%、東京都でも約28%と約3割程度に。実際、無痛分娩を希望しても「予約が取れない」「近くに施設がない」状況です。



麻酔科医 安全に無痛分娩を行うには専門の麻酔科医が不可欠ですが、不足しています。分娩を取り扱う医療機関へ都の調査では、回答のあった133施設のうち20施設が麻酔科医「0人」、「3人以下」も20施設です。

希望者への無痛分娩を提供するための課題として「スタッフや麻酔科医の人員不足」との回答が多く寄せられました。



安心の環境整備に医療現場への支援を

フランスでは少子化対策もあり出産は無料です。東京都による無痛分娩への10万円の助成があっても収まらない場合も多いうえ、取り扱い医療機関が

不足しては希望はかないません。安心して出産できる環境整備が日本はやはり遅れているのではないのでしょうか。経済的支援と医療体制の整備が国・都に求められています。区としても、できることから始めたい。



「防災キャップ配布で防災頭巾は？」

ご意見いただきました。「区内小学校に防災キャップ配布、と区の発行物で見ましたが、新入学の説明会で防災頭巾を用意するようアナウンスが…防災キャップがあれば防災頭巾は不要では？」

区の今年度予算で「区内小学校へ防災キャップ配布」が盛り込まれましたが、実際に配布するのは秋頃になるようです。新1年生はわざわざ新しい防災頭巾を用意しなければならず、それなら来年度の始めからでも良かったのではという声も…。配布後の防災頭巾の活用も考えたい。



防災キャップのイメージ

JR、つくば(TX)も来年3月から値上げへ

4月11日、つくばエクスプレスを運行する首都圏新都市鉄道(株)が国交省に運賃改定を申請。来年3月からJR東日本の運賃値上げが予定されていますが、さらにつくばエクスプレス(TX)も値上げです。



JR 都市部で大幅値上げ

JR東日本は全エリア値上げとし、初乗りは150円→160円に。さらに国鉄時代から低い運賃設定にしてきた「山手線内」と「電車特定区間」を廃止し、その他の「幹線」に統合。都内は「電車特定区間」のため値上げ幅が大きくなります。

電車特定区間・山手線内エリア



初乗りは10円、それ以外は20~30円程度値上げです。例えば、JR常磐線の南千住~上野間は167円→199円(IC利用)に。今は日比谷線178円より安いですが、今後は常磐線の方が高くなります。

※ 電車特定区間および山手線内の改定率(幹線に統合)

運賃区分	普通運賃	通勤定期	通学定期
幹線へ			
電車特定区間	10.4%	13.3%	8.0%
山手線内	16.4%	22.9%	16.8%

子育て世代に配慮

一方、つくばエクスプレスは初乗り170円→180円に。普通運賃と通勤定期は値上げですが、「子育て世代の負担軽減のため」として小児のIC料金は据え置き・通学定期は値下げし、沿線の子育て世代の定着を図っています。



券種	現行	申請
普通券	大人 IC: 初乗168円/最長1,205円 きっぷ: 初乗170円/最長1,210円	IC: 初乗180円/最長1,280円 きっぷ: 初乗180円/最長1,280円
	小児 IC: 大人の半額 きっぷ: 大人の半額	IC: 13キロまで据え置き、14キロ以降200円均一 きっぷ: 大人の半額
定期券	通勤 平均割引率: 40.6%	平均割引率: 37.4%
	通学 平均割引率: 60.4%	平均割引率: 70.0% (これに加えて、小児は19キロ以降5,000円均一)

生活への影響大きく

JR東日本は、運輸収益だけでも1.4兆円と好調なのにJR発足(1987年)以来初の大幅値上げが必要なのでしょうか。2023年の東京メトロの基本運賃値上げにつづき、JR、TX、さくらバスも値上げて、物価高騰のなか区民のくらしは限界です。中小企業の賃金、高齢者の年金の引き上げが待ったなし。

ご意見・ご質問頂きました ○「保育園入園の調整指数ですが、兄弟同時申し込みは他区は基本指数で加算対象ですが、荒川区は同一指数の際の優先順位のみで、兄弟同時入園が叶わない場合もあります。検討していただけないでしょうか…」ご意見いただいています。要検討に。○「ペースメーカー手術をして5年ほど経ち90歳に、半年ごとの検査や日々の生活の大変さも。今年の判定でタクシー券は出ないかもと区の窓口で…」適切な等級判定は必要ですが、実態に立って暮らしを支援してほしい。

